

J Aおちいまばり 第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

金融事業

ビジョン・目指すべき姿		地域に根ざしたJAの金融機関として、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供を通じて豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。							
重点方針	最重点実践方策	代表的な施策	3年間（平成28年度～平成30年度）の目標	平成29年度の目標値	達成度%	主な取組事項	今後の方針・課題	担当部署	
1	地域金融機関として農業及び地域社会への貢献	農業メインバンク機能の強化	営農経済部門と一体となり、農業者・農業法人への出向く活動を実践するとともに、資金ニーズに応じた最適な農業資金の提案を行い、農業メインバンク機能の強化に取り組みます。	管内の訪問対象先(認定農業者・メイン強化先)との面談を強化し、平成28年度は年100回、平成29年度は300回、平成30年度は350回を目標に取り組みます。	担い手への訪問回数 300回	78.0%	夢、希望、将来の計画についてのヒアリング及び農業メインバンクのCS調査のためTAC、融資指導課、支店担当者、信連担当者と連携をとり農業メイン強化先への訪問を実施します。	夢、希望、将来のプランのヒアリング訪問の結果により資金ニーズ等が必要であると判断できる先については再度訪問を実施します。	融資指導課
2	農業協同組合における金融事業の役割発揮	永続性のある安定的収益基盤の確立	農業・地域振興への取り組みの財源を確保するために、平成30年度でのJA貯金3,000億円、年金振込口座2万件を目標として地域から選ばれる金融機関をめざします。	総貯金残高について、平成28年度末2,856億円、平成29年度末2,930億円、平成30年度末3,000億円をめざします。	年度末の総貯金 2,930億	50.0%	年金定期貯金「結いの恵み」と夏福定期貯金CPを併せて組合員・地域の皆様に積極的に提案・獲得しました。また、「紅まどんな」定期貯金を9月から昨年の2倍募集しました。	11月からの冬福定期貯金CPと「結いの恵み」とを併せた活動を実施します。	金融企画課 推進指導課
			年金振込口座について、平成28年度末19,750件、平成29年度末20,500件、平成30年度末20,750件をめざします。	年金受給者 20,500件	66.0%	年金花道CPを中心に、新規裁定請求・指定替えを積極的に獲得しました。各地区年金総会の準備・実施とJA独自年金コンサートの準備に取組ました。	JA独自年金コンサートの具体的準備と年金総会の実施をする。JA独自特典を積極的にPRしながら新たな年金受給者の獲得に努めます。	金融企画課 推進指導課	
			選ばれ続けるJA共済となるため、3Q訪問を基軸としたきめ細やかな活動を展開することを最優先し、新しい仲間づくりに取り組みます。	共済ニューパートナーについて、年間1,300人獲得の3年間継続をめざします。	目標獲得数 1,300人以上	34.1%	3Q訪問活動からの契約内容確認と新たな情報発信を積極的に行いました。併せて建物仕組改訂のお知らせ活動も実施しました。こども倶楽部のイベントを企画し実施に向けた準備を行いました。	こども倶楽部イベントの準備・実施（2回）を行い、新たな仲間づくりに努めます。また未訪問宅を中心に3Q訪問活動の取組強化を行います。	金融企画課 推進指導課